



令和6年度

高山市立宮小学校

学校経営構想

○第4次岐阜県教育ビジョンの基本

・自立力→主体的に学び、考え、行動する
 ・共生力→つながり、認め合い、支え合う力
 ・創造力→よりよい未来を築いていく力
 ふるさと岐阜で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人

○高山市小・学校教育の重点

挑戦し続けるたくましさの育成

達成感と貢献感を積み重ねることが挑戦するエネルギーになる(個と向き合う)

○学校課題

◇子どもに力をつける小中一貫教育の推進

- ・どんな環境でも自分らしく生きる力の育成
- ・考えをもって主体的に行動できる
- 自律型学習者の育成
- ・自ら学ぼうとする意欲の育成
- ・確かな学力(知・徳・体)の育成
- ・仲間の思いを汲み、共に高まる人間関係力

■学校のエデュケーション目標

進んでやりぬく宮小の子 ～やさしく かしく たくましく～

■育てたい資質・能力

自分の考えをもち、進んで対話する力

【3つの視点】

- ①自分の考えを持つための根拠となる基礎学力をつける。(教える)
 - ②自律型学習者を育てる。思考を奪わない思考を育てる。(育てる)
 - ③たくましさを持つためには委ねる任せる。(任せる)
- 人生というステージで勝負するため、教え育て任せる



やさしく

すべての子に居場所と絆を

- ・なりたい自分、願いを持たせ向き合い見届け、達成感を味わう
- ・仲間のよさを見つけ、共に創造できる児童の育成
- ・物を大事に扱う児童でやさしさを育む(対話 ↔ 人 ↔ 物)
- (服をたたむ、机を持ち上げて運ぶ)
- ・正しい判断と行動ができる児童
- ・心の健康づくり(眠育 保健授業)
- ・相談活動の充実(教育 特別)

かしく

学力に責任を持つ

- ・教え育て任せる授業
- ・単元を見通した授業構想
- ・個別最適な授業へのチャレンジ
- ・終末→何ができるようになったかを「きらりタイム」で児童も教師も振り返り
- ・ICTを効果的に生かした授業
- ・教科担任制の充実
- ・中部学院大学と連携(外国語)

たくましく

児童(保護者・地域)と共に創る

- ・一人一枚賞状(自己肯定感の育成)
- ・一之宮学の実施
- ・郷土での疑似体験や話を聞く会
- ・「眠育」で家庭と共に生活習慣を確立
- ・位山タイムでのあそび(体力づくり)や縦割り活動で自分を磨く
- ・地域講師の活用(ふれあいタイム お話玉手箱)
- ・スクールサポーターの見守り活動
- ・保護者との連携(希望懇談日設定)

《合言葉》

太陽作戦

(イソップ童話 北風と太陽から)

児童の思考を育て心の内から意欲がにじみ出るような指導・支援に挑戦

「安心・安全を確保し児童と共に創造する宮小職員」

- ・「若手塾」の設立 若手職員の学ぶ機会の確保とストレスマネジメント
- ・授業力をつけ、主体性を伸ばし、真に児童に力をつける教師
- ・児童の「言葉」と「心」に耳を傾け、常に高いアンテナを持ち、迅速に対応する教師
- ・いじめ、不登校の未然防止と早期発見・対応のできる教師・組織
- ・「カッコいい大人」「美しい大人」の人間モデルとなる教師の姿勢
- ・自身の心身の健康管理ができる教師(超過勤務45時間の意識と勤務)



PTAと学校運営委員会及び学園連絡会を通した保小中、保護者、地域との連携

◎一之宮地域に根ざした「保・小・中連携教育」の推進 宮小150周年の節目の年

- ・願いの共有……地域と学校との「育てたい資質能力」の共有と見届け
- ・地域教育の推進……地域を知る ～総合的な学習を核に「一之宮学」のさらなる推進～
- ・学習環境の整備……地域人材による学習支援・兼務を生かした学び方の共有

